



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.196

2023 年 5 月 10 日

支部長 S.S.

このところ寒暖差が激しい日が続いております。少しずつさわやかな 5 月の風を感じ、日に日に心地よく感じられる今日このごろです。

また疲れも溜まる頃ですが、ゴールデンウィークは楽しく過ごされましたでしょうか。

私の住んでいる佐賀でも色々なイベントが始まり、佐賀アリーナもいよいよオープンします。それに伴いコンサートやディズニーオンアイス、フィギアスケートなどが予定されています。どうぞお出かけください。佐賀駅にも佐賀の魅力を発信する施設が佐賀駅高架下にできました。先日、雨の中を見学に行ったところ大勢の人でいっぱいでした。こんなに外国の方も多いのかと思うほど外国人の姿も多かったです。



また新型コロナも 5 類感染症移行に伴い、個人の選択を尊重し自主的な取り組みを基本とした考え方に変わります。これからは交通、宿泊は好調になっていく事と思います。今後もサーバス活動が、皆様の生活をより一層意義のあるものに変えていく事を願います。

皆様の協力を得て、サーバス九州支部会報 5 月号が出来上がりました。次の内容でお届けします。

支部長 S.S.

1. 2023 年度 サーバス九州支部会議を終えて
2. 支部会議 ミニ講演
3. ホストおよびトラベラー体験レポート
4. 九州支部現況
5. 支部からの連絡
6. 編集後記

1. 2023 年度 日本サーバス九州支部会議を終えて

九州支部会議が去る 4 月 22 日に開催されました。詳しくは、先日、各会員にメールで配信されたファイル「**2023 年度日本サーバス九州支部会議議事録**」をご覧ください。

- ・日 時：2023 年 4 月 22 日（土）14:00 ～ 16:15
- ・会 場：福岡 赤坂「あいれふ」
- ・出席者：19 名 〈会場出席者：18 名 オンライン出席者：1 名〉

県別出席者数：福岡県 6 名、佐賀県 2 名、長崎県 4 名、大分県；4 名、
宮崎県 2 名、鹿児島県 1 名

議事内容

- 1) 2022 年度活動報告
- 2) 2022 年度決算報告及び会計監査報告
- 3) 2023 年度活動計画案
- 4) 2023 年度予算案
- 5) その他

会場には 18 名の参加者が集い、Zoom オンライン参加の 1 名を加えて、とても賑やかでほのぼのした雰囲気の中に会議を終了することができました。会場がいつもより狭く、Zoom 対応などバタバタしておりご不便をかけたことをお詫び申し上げます。福岡の T 議長の進行のもと会議は進められ、出席者の拍手によりすべての議事案が承認されました。

そして何よりの嬉しいニュースがあります。S 会員と K 会員のご友人二人が参加されていましたが、会議終了とともに、サーバス入会意思表示をされ、会場は大きい拍手に包まれました。

会議後は、会場近くの居酒屋「ふくろうの森」で懇親会を行いました。N 会員の乾杯の音頭に始まり、時間が経つのも忘れるくらいに話に花が咲き、楽しいひと時を過ごすことができました。



意見交換の中で、全支部会員の共通理解が必要な事項について、再度確認をお願いします。

○支部会計から各県に**活動補助費**を支給し、今後県単位での交流・親睦活動に活用する。

○支部役員と各県連絡担当者の**ライングループ**を作る（メールよりラインの方が連絡を取りやすいから）。更に各県内で連絡網（ラインやメールなど）を作り、各種連絡に活用する。

○年会費納入については、日本サーバスの内規に「該当年の**1月31日**を納入期限とする」とある。今年度会費の未納の会員は、早急に振込をお願いします。

○トラベラー受け入れ報告を確実に支部長までする。

日本サーバスの Web ページ⇒「トラベラー受け入れ報告」から入力報告すると、その内容メールは自動的に自分のもとに届き、自分の記録にもなる。支部長への報告も不要となる。忘れないうちにその都度報告してほしい。[トラベラー受け入れ報告（入力ページ）](#)

サーバス九州では、この報告の仕方を推奨します！

○サーバス旅行報告を確実に支部長までする。

日本サーバスの Web ページ⇒「詳細なご案内」⇒「サーバス旅行をされる方へ」⇒注意事項の中の「サーバス旅行報告書」から報告。

○「日本サーバスのご案内」のチラシを 500 部作成した。新会員お誘い、サーバス PR 用に活用してほしい。[日本サーバスの Web ページ](#)⇒「簡単のご案内」に掲載されています。

2. 支部会議 ミニ講演

支部会議の最後に、福岡の S.M. 会員にミニ講演をしていただきました。内容も項目別にわかりやすくまとめられており、とても興味深いお話でした。質問も次から次に飛び交い、是非会員の皆さまにも読んでいただきたく、原稿にまとめていただきました。

フランス家族事情

S.M.（福岡）

長年にわたりフランスにかかわる仕事をして来て、日本とのあまりの違いに驚き、羨ましくなり、日本ではあまり知られてないフランスを知って欲しくてお話ししました。

I まず教育制度についての違い

1 幼稚園から留年制度がある。



- 2 大学まで授業料が無料である。(年間登録料 25000 円程度) 大学には入学試験はない。バカロレア (高校終了認証試験、論述式、口頭試問あり) に通ればどこの大学でも入学可。
- 3 高校卒業後、大学よりレベルの高い進学先グランゼコールがあり、超エリートが養成される。一般大学は 3 年制でその後ほとんどの学生が大学院 (2 年制) に行くが、5 年で卒業するのは全体の 27%。

*日本に留学しているフランス人学生の驚き：授業中に寝ている学生の多さ、(フランスでは考えられない)。教師と学生と一緒に居酒屋で飲むこと、(フランスでは教師は権威ある存在)。母親にお弁当を作ってもらっていること、(フランスでは弁当は母親に負担をかけるもの、大学生の世話を焼く母親もそれを受け入れている学生も理解し難い)。

II 妊娠、中絶、出産の問題

- 1 中絶に関してはフランスでは 1974 年に自由意思による妊娠中絶ヴェイユ法が成立、1982 年から 80%が保険で賄われる。日本では 1948 年に優生保護法で中絶が合法化、ただし、本人、あるいは配偶者が精神病、ハンセン氏病の場合のみ。母体保護法での中絶が合法化されたのは 1996 年。
- 2 ピル解禁はフランスでは 1967 年、日本では 1997 年、30 年の差がある。フランスでは日本では普通には手に入れるのが難しいモーニングピル (翌日飲めば 98%妊娠しない。これが処方箋なしで薬局で入手可。中学高校では保健室で無料配布)、ミニピル (授乳時)、中絶ピル (妊娠初期 5 週以内にはこれを飲めば外科手術なしに中絶可。1988 年には世界で承認、日本では今朝 4 月 22 日、承認の方向に動く、という報道がなされた。) 等がある。
- 3 出産に関しては、フランスでは費用の全額が払い戻される。また婚外子の全体に対する割合はフランス 61%、イギリス 48.2%、日本 2.4%で、婚外子と嫡出子の権利の区別はフランスでは全くない。子育て期の女性の 80%はフルタイムで働いている。

III カップルの形について

①ユニオンリーブル (同棲、事実婚) ②PACS (非婚カップル保護制度) ③法律婚 と三種類ある。PACS は役所に届けるだけでよく、片方が申し出れば解消できる。社会保険、家族手当は結婚と同様、所得税は共同申告可。また 2010 年には同性婚も認められた。法律婚の場合、するときも解消するときも手続きが複雑。

フランスで特徴的なものに複合家族がある。複合家族とはカップルが他の配偶者、パートナーの実子や養子にある子を持つ家族をさす。

IV フランス人とは

フランス人の結婚観をミュリエル・ジョリヴェ (上智大学教授) 著「フランス新・男と女」(平凡社新書) から少し引用させてもらって紹介します。

「結婚」とは「退屈」や「繰り返し」の同義語で夫婦はお互い生き生きとしているように装っても実は相手にうんざりしていたり、お互いのことがみえていなかったり。

私たち女性が幸せになるために望んでいるのは、好きな仕事と少しの教養、スポーツをしたり、彼と一緒に過ごすための余暇時間です。子どもはもう女性の人生の一部でしかなく、いなくてもいいものになっています。(バダンテール)

フランス人にとっての幸せとは？2000年の調査で、95%のフランス人が幸せと答え、その根拠として「性生活で満足してるから」と答えている。

愛しあっていない二人が一緒に暮らし続けるのはむしろ倫理に反する。

次にヤップ、シレット共著「フランス人のまっかなホント」から

他の国人から見るとフランス人は矛盾だらけだ。例えばフランス女性はフェミニズムは支持するが、女性らしさを捨てる気はない。彼らはよく働くが働いているところはめったに見かけない。フランス国内を車で運転してみるがいい。何月でも、何曜日でも、何時でも、人間を見かけないのである。誰も住んでいないか、みんな眠っているのではないかと疑いたくなる。

フランス人は自分たちは優れていると確信しているので、他の国の人はどう見られようが気にしない。

最後に、早坂隆「世界の日本人ジョーク集」から

＊早く飛び込め ある豪華客船が航海の途中に沈みだした。船長は乗客たちに速やかに船から脱出して海に飛び込むように、指示しなければならなかった。船長はそれぞれの外国人乗客にこう言った。アメリカ人には「飛び込めばあなたは英雄ですよ」イギリス人には「飛び込めばあなたは紳士ですよ」イタリア人には「飛び込むと女性にもてますよ」ドイツ人には「飛び込むのがこの船の規則となっています」日本人には「みんな飛び込んでますよ」フランス人には「飛び込まないでください」。

3. ホストおよびトラベラー体験レポート

デンマークからの訪問者に学んだこと

O.T. (長崎)

D.M. (長崎)

<久しぶりのトラベラー受け入れ>

長いコロナ禍の中で中断気味だったサーバス活動も動き始め、3月は3年ぶりにトラベラーを我が家に受け入れた。40代夫婦と11歳の女の子、8歳、5歳の男の子の一家5人。デンマーク

からだ。この時期、子ども連れで世界旅行をするのはどのような意図があつてのことなのか、興味もあつた。過去、受け入れた子ども連れの家族はいずれも早いうちから子どもたちに世界を見せたい、という考え方の人たちで、モンテッソーリ学校に通っていたり、シュタイナー教育の実践校の生徒だったりして、学ぶことが多かった。



今回の家族はコペンハーゲン近くの農村地区に住む普通の公立校の子どもたち。父親は農家出身の銀行マン。母親はタクシー運転手を父に持つ生物学の研究者。6週間取れる有給休暇を利用して、「子どもたちに世界を見せたい」とインド・日本への旅に。「3人の子連れで旅するのはたいへんでしょう」とねぎらうと「子どもたち同士で仲良く遊んでくれるので、たいしたことはない。普段は仕事があるので、こういう密な時間があまりつくれないが旅行ではそれができるので、今のこの時期を大切にしたいと思って、家族でよく旅に出ている。子どもたちを大声で怒ることはほとんどないと思う」と父親。3日間一緒に過ごしたが、親が子どもたちに強く命令する声も叱る声も全く聞かれなかった。母親が「子どもたちは今、自分たちはどうあらねばならないかがわかっている」と話してくれた。デンマーク人の家庭はほとんどそうなのか、と問うたら、当たり前だが、それは家庭によって異なると思う、の返事。自分の家庭では子どもの自主性を大事にしている。あまりプレッシャーをかけることはしていない。家ではそれぞれ責任をもった仕事がある、とのこと。

一家がめずらしがってくれたのが3つある。1つは身近に山のある風景。広大な田園風景が続くデンマークで一番高い山は海拔約 150 メートルほど。その山は‘スカイマウンテン’と呼ばれているそうで、一瞬聞き間違いかと思い、S k y ? と問い返したほどだ。2つは我が家の近くに開館した‘洞窟ミュージアム’。子どもたちのたつての希望で二度出かけた。彼らは工作室での勾玉作りが気に入ったようで、8歳の男の子はガールフレンドにプレゼントすると言って、家に帰ってから必死に勾玉を磨いていた。3つ目は回転ずし。‘ランニングスジ’に行ってみたいというので何のことかと思ったら‘回転ずし’のことだった。それで、お昼は回転ずしへ。子どもたちは好きな食べ物をタブレットで注文でき、大喜びだった。彼らの日本旅行への期待は‘ランニングスジ’と‘新幹線’。その一つがかなって満足そうだった。

<デンマークってどんな国？>

子どもたちが床に就いたあとは大人の交流タイム。今回は彼らにぜひ、尋ねてみたいことがあつた。世界一住みたい国に何度も選ばれているデンマークからの客人だ。そこを話題にしない手はない。

質問1 有給休暇を使つての旅行って聞いたが何日ぐらいあるの？

年間6週間。長期に必要な時は前借(?)もできる。その他、病気休暇や育児休暇などもある。

育児休暇は母親ばかりでなく、父親にも保障されている。父親も積極的に育児休暇を取得し、育児に関わっている。

質問2 教育費は高いの？

保育園から大学・大学院までの授業料、教科書代、大学での寮費なども含めてすべて無料。下

宿代も普通程度の生活ができるぐらいは出る。

質問3 医療費は？

医療費、出産費は原則すべて無料。病気に備えて貯蓄しておかなければいけないという考えはあまりない。

質問4 老人ホームなどの費用は？

すべて無料。

質問5 失業ってないの？

仕事を変えたいときなど当然失業はあるがその場合も生活費は保障されている。

質問6 財源は？

税金。収入の50%は税金として差し引かれる。

質問7 他にデンマークのお国自慢は？

コペンハーゲンでは国民の50%以上が自転車通勤している。環境への負荷、経済性、健康を考えると自慢できるかな？

質問8 今の国のシステムで問題だと思うことはない？

生まれてから亡くなるまで生きていくことが保障されているので、それに甘えている人もいるかなと思うところはあるが、国民全体は質素だがゆとりのある充実した生活を営んでいるのではないかなと思う。自分たちの国を誇らしく思う。

<感想>

聞きながら二人で「うらやましい！」を連発したが、どのようにすればそのような公的保障がある社会にしていけるのかー「競争と自己責任論」の呪縛からなかなか自由になれないでいる日本社会のありようを改めて考えてみるきっかけをくれたデンマークからのお客さんだった。



サーバス体験報告

Y.K. (宮崎)

サーバスホスト：2023年3月3日～3月10日

スペインからを受け入れたサーバスメンバーは、サーバストラベラーとは如何にあるべきかを示してくれた。

常時、適切な気配りがあり、日本文化をよく理解した振る舞いで、何よりも気持ち良く話ができた。礼儀をわきまえた率直さがあるため、明確な答えが必要な場面での対応が素晴らしかった。この礼儀正しさと気さくさの絶妙なバランスは調停者としての経歴がなせる技であろう。私の妻の母国語であるカタラン語を話すため、二人はまるで昔からの友人、時に姉妹のように仲良く語り合っていた。

サーバスオンライン(SOL)を効率的に活用して、事前の手配を行っていた。サーバスメンバーとしての宿泊の仕方、サーバスの旅行準備の仕方などを目の当たりした私と妻は大いに触発され、まだ経験していないサーバストラベラーを目指すことにした。

サーバストラベラー：2023年3月29日～4月1日

佐世保のサーバスメンバーは、サーバスホストとは如何にあるべきかを示してくれた。トラベラーである私たち夫婦をもてなす大まかな計画は準備しながら、変化する状況に応じた対応が素晴らしかった。計画性と臨機応変さのバランスの良さは、教育者として経歴からくるものと思われる。他の2名のサーバスメンバーにも加わってもらい、多種多様な価値観を知る機会となった。複数の風光明媚な場所に案内してもらったが、傾斜地に佇む陶器の村が特に興味深かった。



(波佐見焼の陶郷中尾山にて)

1ヶ月の間に、サーバスホストとサーバストラベラーの両者の立場を経験する中で、様々なことを直接学ぶ貴重な機会を得ることができた。

まず、LOIの取得方法さえ知らなかった。サーバストラベラーにLOIが必須であることも認識していなかった。また、妻と私の両者にLOIが必要なことも知らなかった。

知らないことづくめの私は、近くに住むサーバスメンバーに、全ての手続きを教えてもらった。また、LOI発行を担当する支部長は私が全ての資料を揃えるまで辛抱強く待ってくれた。ホストとトラベラーとしての一分一秒を楽しんだ私と妻は、これからの数年間、同じような素晴らしい経験ができることを楽しみにしている。

SERVAS experience

M.A. (宮崎)

Our first SERVAS experience as travelers has been just wonderful thanks to our gracious hostess and day hostesses. I also learnt a lot from them to be a better host myself. I'm looking forward to a new opportunity to visit other SERVAS members around the world.



(陶山神社でピクニック)

優しいホストの皆さんのお陰で、私たちの初のサーバストラベラー体験は実に素晴らしいものになりました。そして私自身、ホストがいかにあるべきかたくさんを学ぶことができました。また、世界中のサーバス会員を訪問する機会を心待ちにしています。

* Travel to Kyushu *

Date 3/14 to 3/28 first time to explore Kyushu

L.H.J.(Taiwan)

We really had good opportunity to stay with different hosts and day host in Kyushu. It was really nice and got an excellent insight in traditions and everyday life of local people.

Date 3/18~3/20 stayed at Mrs M.M. home in Kawatana. We were happy to visit their hidden gem to see sunset and seaside walking in chu chu island. We also have very special experience that we do morning exercise before breakfast as their daily life. We long discussion till midnight and enjoyed talking with them. I'm admire their retire life have owned farm to subsistence farming and hand made many things. M's mother sent us her hand made knitted socks . She's so sweet.

We like their slow living and cozy home. Hope we can visit them again when harvest season and roses blossom.

Thank you Servas member's dedication that we have chances to experience different cultures and life wisdom learning.



(我が家の甘夏の木の下で)



(熊本のホストとスペインからのサーバストラベラーと一緒に)

初めての九州旅行—3/14~3/28—

L.H.J.(台湾)

九州の様々なホストやデイホストの方々と一緒に過ごすという、本当にいい機会に恵まれました。地域の方々の伝統や日常生活に直接触れることができ、本当に素晴らしい体験ができました。

サーバス会員皆さまの献身的なおもてなしのお陰で、異文化体験と生活の知恵について学ぶ機会を持つことができました。

(来日経験豊富な、仲良し母娘の二人旅でした！)

4. 九州支部現況

〈2023 年 5 月 10 日現在の会員数〉 40 名 (家族)

福岡県	: 14 名	佐賀県	: 3 名	長崎県	: 7 名	大分県	: 9 名
熊本県	: 3 名	宮崎県	: 3 名	鹿児島県	: 1 名		

〈訃報〉

今年 3 月に大分県会員の M.T.様が亡くなりました。

宮崎の秋例会にはいつもと変わらず参加していただき、亡くなる直前にも、福岡県会員が大分を訪問し、M さんに詳しく案内していただいたと聞いておりました。突然の訃報に信じられない思いでしたが、九州支部からは、弔電を打たせていただきました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

〈新入会員紹介〉

T.Y.さん（福岡県）

5 月から入会します。先日は入会前なのに参加させていただきありがとうございました。すごくワクワクしています。よろしくお願いします。

私の Instagram にサーバスの事(誰でも見れるホームページの内容)をストーリーに載せたら 30 人見ていました。少しずつ仲間を増やしていきたいと思っています。

Y.Y さん（福岡県）

3 月 22 日の会議に参加し、懇親会にも入れていただきました。ありがとうございます。 Deputy Host を希望します。よろしくお願いします

5. 支部からの連絡

★変更届け： 連絡先住所、電話番号、メールアドレス等変更はありませんか？もし変更する時は、支部にもご連絡いただきますようお願いいたします。

★昨年に引き続き、今年も「秋例会」を開催する予定です。10 月か 11 月に北九州市方面での実施に向けて、福岡県の会員が企画してくださいます。一人でも多くの参加を期待しています。

★サーバス活動も活発になってきましたが、会員が LOI を取得する申請手順システムが変わっています。具体的な申請方法が日本サーバス Web ページ⇒[Servas Online](#)に掲載されていますが、本部 IT 担当から送られてきた手順のフローチャートを添付します。詳細については、支部長へお問い合わせください。

6. 編集後記

総会や各種イベントも数年ぶりに復活し、あわただしい年度初めを迎えています。また、待ち望んでいた国境の全面的なオープンと同時に、サーバス活動もあっという間に活発になりました。お陰さまで、本会報の原稿執筆への協力も快く応えていただき感謝しています。会報を通して、フランスやデンマークのことなど異文化理解やサーバス体験の共有ができることを嬉しく思います。どんな小さいことでも、何か情報がありましたら気軽にお知らせください。

M.M.



(イタリアからの高校生トラベラー)

